

“木づかい”で大館が楽しくなる。

WOOD CHANGE! ODATE ウェビナーシリーズ

令和4年2月21日(月)午前10時～正午



第7回テーマ(特別編)

ドングリの林を守ろう!

～大館を取り巻くナラ枯れ被害の現状と対策～



出演者:

山形大学農学部 客員教授 齊藤 正一 様

コメンテーター 秋田県立大学木材高度加工研究所

所長・教授 高田 克彦 様

准教授 足立 幸司 様

大館市では、令和3年度よりスタートした「大館市木材利用促進計画」を推進するため、森林・林業・木材産業に関するWEBセミナー「WOOD CHANGE! ODATE ウェビナーシリーズ」を配信します。

【開催概要】

テーマ : ドングリの林を守ろう!～大館を取り巻くナラ枯れ被害の現状と対策～

内容 : 東北地方や秋田県の広葉樹に関する現状と課題(虫害・獣害)について理解を深めるとともに、家具等への活用事例を紹介いただくことで、地域内での広葉樹利用推進に向けたヒントを探ります。

開催日時 : 令和4年2月21日(月)午前10時～正午

定員 : 100名程度

参加費 : 無料

申込期限 : 令和4年2月18日(金)午後5時まで

申込方法 : 「大館市電子申請・届出サービス(以下、URL)」からお申し込みください

https://s-kantan.jp/city-odate-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2151

開催方法 : Zoom ウェビナー(ウェブナーURLは、お申し込みいただいた方にお知らせします)

対象 : どなたでもご参加いただけます

その他 : 第7回は秋田県立大学木材高度加工研究所・学内プロジェクトとのコラボ企画として開催します

<http://www.iwt.akita-pu.ac.jp/info.php> (秋田県立大学木材高度加工研究所HP)



QRコード

(申込ページ)

【出演者】

山形大学農学部 客員教授 齊藤 正一(さいとう しょういち) 様

秋田県立大学木材高度加工研究所 所長・教授 高田 克彦(たかた かつひこ) 様

准教授 足立 幸司(あだち こうじ) 様

問合せ: 大館市産業部林政課木材産業係

TEL: 0186-43-7076 / FAX: 0186-49-3133 / MAIL: mokuzai@city.odate.lg.jp



匠と歴史を伝承し
誇りと宝を力に変えていく
「未来創造都市」



【第7回の内容紹介】 講師：山形大学 農学部 客員教授 齊藤 正一 様

<略歴>:

1960(昭和35)年1月10日 東京都荒川区生れ

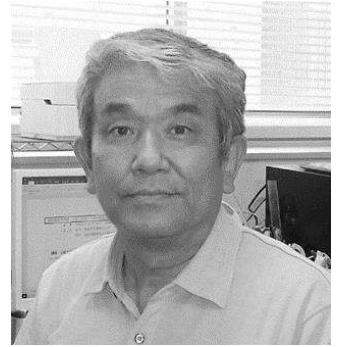
1982年 新潟大学農学部林学科卒 (造林学・森林生態学)

2016年 新潟大学大学院自然科学研究科修了 博士(農学)

以後、林野庁、郵政省、山形県(森林研究研修センター)に勤務 2020年より現職。

<専門>: 森林病虫獣害の防除法の開発, 広葉樹林の管理技術の開発

<著書>: 森林をまもる(2002), 林業改良普及双書 ナラ枯れと里山の健康(2008), 樹木医の手引き改訂4版(2014), 松保護士の手引き改訂2版(2015), 林業改良普及双書 獣害対策最前線(2011)



演 題: 「ドングリの林を守ろう! ~大館を取り巻くナラ枯れ被害の現状と対策~」

次 第

1. はじめに

2. 講演

○セクション1 ~ナラ枯れ被害の実態とメカニズム~

- ・ ナラ枯れ被害とは
- ・ ナラが枯れてクマは生きていけるの?
- ・ 秒読みに入った大館でのナラ枯れ被害発生
- ・ ナラ枯れ被害の特徴

○セクション2 ~ナラ枯れの被害対策~

(1) 単木的な防除方法

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ◆ 駆除 ①立木くん蒸処理法 | ◆ 予防 ①殺菌剤樹幹注入法 |
| ②伐倒くん蒸天幕被覆処理法 | ②粘着シート巻付け法(健全木) |
| ③粘着シート巻付け法(枯死木) | ③粘着剤・殺虫剤散布法 |
| ④その他(チップ化・焼却等) | |

(2) 面的な防除方法 ①被害前に伐採利用 ②その他(おとり丸太法など)

○セクション3 ~今、大館市ができるナラ枯れ対策~

ひどい目に合う前にできること「伐って・使って・若返らせる」

3. ディスカッション

【メッセージ(秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授 足立 幸司 様)】

大館も含めた東北の山々にはミズナラ、コナラ(以後、ナラ)、ブナなどのドングリのなる木が豊富で、野生鳥獣の重要な糧の一つになっています。また、木材としても計画的に伐採され、特にナラは紙の原料やシイタケ栽培、燃料、家具やフローリング、近年ではウスキー樽用材にも活用される、地域の重要な森林資源になっています。しかし、近年、ナラが急速に枯れる被害(ナラ枯れ)が全国に広がっており、大館市の周辺でも被害の拡大傾向にあります。ナラ枯れは被害に気づいたときには遅いと言われており、予防対策がたいへん重要です。

今回は、ナラ枯れ対策の専門家である山形大学の齊藤正一先生から、ナラ枯れとは何か?大館市を取り巻くナラ枯れ被害の現状は?私たちに今できることは?についてお話いただきます。ドングリの林を(きちんと管理することで人と野生鳥獣の暮らしも)守ることの気づきに繋がれば幸いです。